

Print Server N01

キャリブレーションガイド

プリンターでプリントされる色は、使用環境やプリント枚数などによって変化します。プリンター本体でも、このような変化を補正する機能を持っていますが、Print Serverのキャリブレーションを使用すると、さらに精度の高い補正ができます。

DocuPrint C5000 dは、当社の推奨する温度や湿度、用紙銘柄で、安定した色再現性能を発揮します。ただし、実際には、室内環境(温度・湿度)の変化や使用する用紙の切り替えの影響により、プリントされる色はわずかに変化することがあります。

このような色の变化を補正するときは、Print Serverでキャリブレーションを実施してください。

このガイドは、キャリブレーションの基本的な操作だけを記載しています。キャリブレーションの詳細な操作については、『Print Server N01 ユーザーズガイド 運用編』の「2.2 キャリブレーションで色を補正する」を参照してください。

効果的な実施ポイント

厳密に色の安定・再現を必要とする場合に、効果的なキャリブレーションの実施ポイントを、以下に紹介します。

室内環境(温度・湿度)の急激な変化のあと

夏季や冬季に空調設備を始動した直後は、室内環境が急激に変化するため、プリントされる色が変化することがあります。このようなときは、室内環境が安定してからキャリブレーションを実施し、プリントを開始してください。

用紙を切り替えたとき、一定期間後に再プリントするとき

用紙そのものの色味の違いや、用紙表面の加工処理の違いによって、プリントされる色に影響が出ます。使用する用紙を切り替える場合や、同じ用紙銘柄を使用するときでも、一定期間後に再プリントするジョブの場合、キャリブレーションを実施すると、より厳密な色の安定・再現につながります。

事前の実施をお勧めします

以下のような運用を行う場合には、事前にキャリブレーションを実施し、事前実施後も必要に応じて実施してください。

印刷、またはほかのプリンターとの色合わせのため、プロファイルを作成する場合

プロファイル作成用チャートのプリント前にキャリブレーションを実施します。また、プロファイルを適用したプリント前にも、再度キャリブレーションを実施すると、プロファイルが狙う色を再現できます。

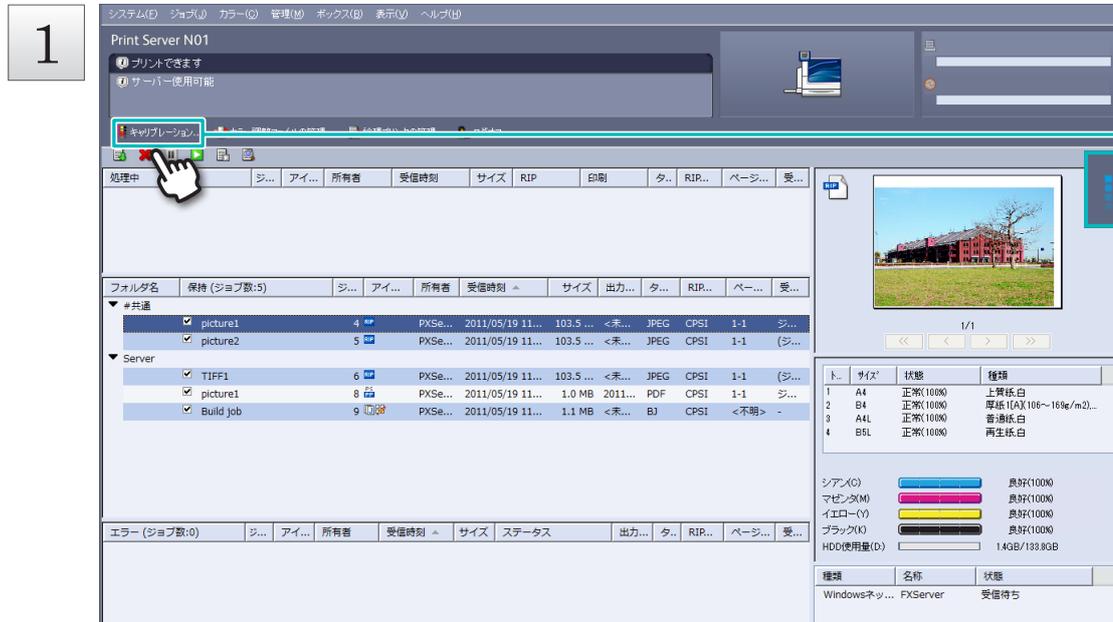
標準搭載のプロファイルを使用したプリントで、再プリントを予定している場合

最初のプリント前にキャリブレーションを実施します。再プリント時にはキャリブレーションを実施してからプリントすると、再プリント時の色の変動を抑えることができます。

- 1 キャリブレーションメニュー
- 2 キャリブレーションファイルの新規作成
- 3 操作手順
- 4 キャリブレーションファイルの操作
- 5 ターゲットファイルの作成

1

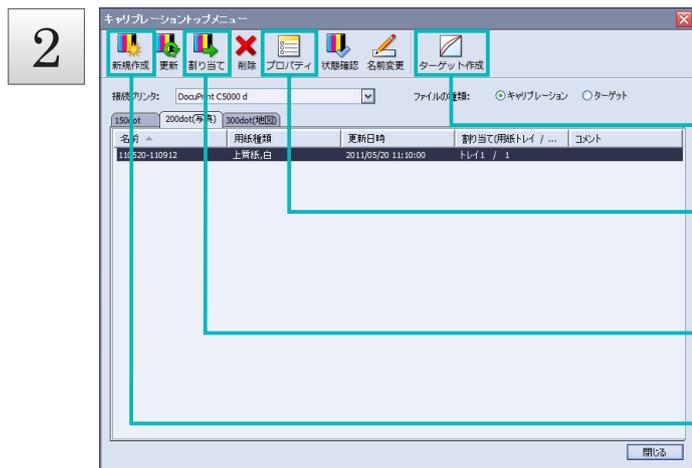
キャリブレーションメニュー



ServerManagerの  [キャリブレーション] をクリックします。
 [キャリブレーショントップメニュー] ダイアログボックスが表示されます。

補足

[カラー]メニューから[キャリブレーション]を選択しても、[キャリブレーショントップメニュー]ダイアログボックスを表示できます。



- キャリブレーションターゲットファイルを新規で作成するとき [ターゲット作成] をクリックします。.....→ **5**
- 作成したキャリブレーションファイルを確認、確認用サンプルをプリントするとき [プロパティ] をクリックします。.....→ **4**
- 作成したキャリブレーションファイルを用紙トレイに割り当てるとき [割り当て] をクリックします。.....→ **4**
- キャリブレーションファイルを新規で作成するとき [新規作成] をクリックします。.....→ **2**

補足

- [更新] 作成済みのキャリブレーションファイルの名前や割り当て状態を変更せずに、内容を更新できます。
- [削除] 作成済みのキャリブレーションファイルやキャリブレーションターゲットファイルを削除できます。
- [状態確認] ... 作成済みのキャリブレーションファイルの結果がターゲットに対してどれだけ一致しているかを確認できます。
- [名前変更] ... 作成済みのキャリブレーションファイルの名前を変更できます。

目的のボタンをクリックします。
 それぞれのダイアログボックスが表示されます。

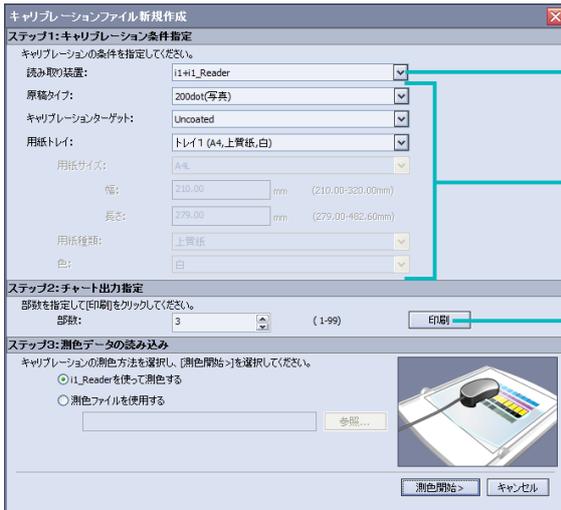
2

キャリブレーションファイルの新規作成

1

[キャリブレーショントップメニュー]ダイアログボックスの[新規作成]をクリックします。
[キャリブレーションファイル新規作成]ダイアログボックスが表示されます。 ← 1 / 1~2

2



キャリブレーションの方法を選択します。

読み取り装置を選択します。 → 3

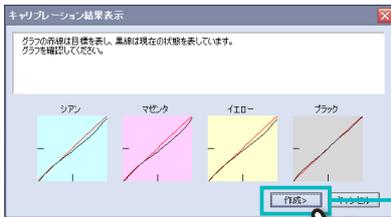
キャリブレーションの条件を選択します。

キャリブレーションチャートをプリントします。

3

測色器キャリブレーション(i1+i1_Reader、または i1iO+MeasureTool)を行います。 → 3

4



読み取り(測色)が終了し、[キャリブレーション結果表示]ダイアログボックスが表示されたら、[作成]をクリックします。
[キャリブレーションの保存と割り当て]ダイアログボックスが表示されます。

作成>

5



ファイル名とファイルコメントを入力できます。

チェックマークを付けると、ファイルの保存と同時にファイルの割り当てが行われます。

保存

[保存]をクリックします。

3

操作手順

i1+i1_Readerの場合

1 [キャリブレーショントップメニュー]ダイアログボックスの[新規作成]をクリックします。
[キャリブレーションファイル新規作成]ダイアログボックスが表示されます。 ← 1 / 1~2

2

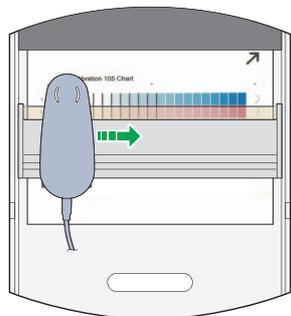
① [i1+i1_Reader]を選択します。

② 測色方法を選択します。
[測色ファイルを使用する]を選択したときは、[参照]をクリックして測色ファイルを選択します。

③ [測色開始]をクリックします。
[i1_Readerを使って測色する]を選択したときは、i1_Readerが起動します。

3

[測色開始]をクリックします。



キャリブレーションチャートを測色します。

補足

測色するときは、測色するチャートの下に、チャートと同じサイズの白紙を5枚以上敷いてください。

参照

測色方法については、『Print Server N01 ユーザーズガイド 運用編』の「2.2.5 i1_Readerと測色器」を参照してください。

測色データの読み込みが終了すると、[キャリブレーション結果表示]ダイアログボックスが表示されます。

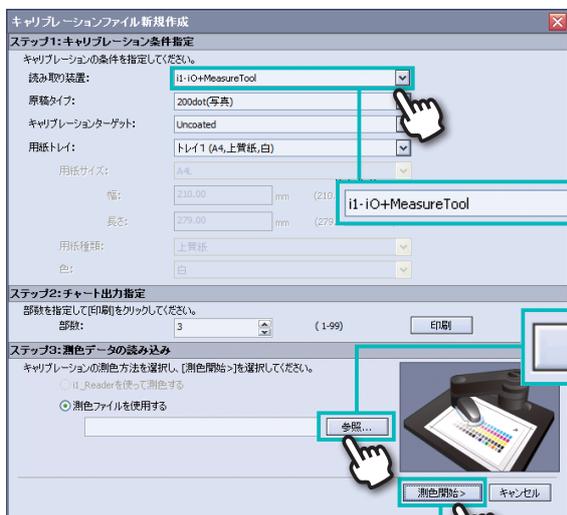
4 キャリブレーションファイルを保存します。 2 / 4~5

i1iO+MeasureToolの場合

1

[キャリブレーショントップメニュー]ダイアログボックスの[新規作成]をクリックします。
[キャリブレーションファイル新規作成]ダイアログボックスが表示されます。 ←..... 1 / 1 ~ 2

2



① [i1iO+MeasureTool]を選択します。

② [参照]をクリックして、測色ファイルを選択します。

③ [測色開始]をクリックします。

参照

測色方法については、『Print Server N01 ユーザーズガイド 運用編』の「2.2.5 i1_Readerと測色器」を参照してください。

3

キャリブレーションファイルを保存します。 2 / 4 ~ 5

4

キャリブレーションファイルの操作

ファイルの割り当て

[カラー調整ファイルの管理]ダイアログボックスから、キャリブレーションファイルの設定1~100にファイルを割り当てるができます。

作成したキャリブレーションファイルをPrint Serverに登録すると、プリント時にプリントオプションから選択できます。

補足

- キャリブレーションを実施しただけではプリントに適用されません。プリントに適用するには、以下のどれかの設定を行う必要があります。
 - [カラー調整ファイルの管理]ダイアログボックスで割り当てを行ったあと、プリントオプションの[画質]>[キャリブレーション]で割り当てたファイル
 - [キャリブレーション]ダイアログボックスでレイへの割り当てを行ったあと、プリントオプションの[画質]>[キャリブレーション]で[自動]を選択する。

1

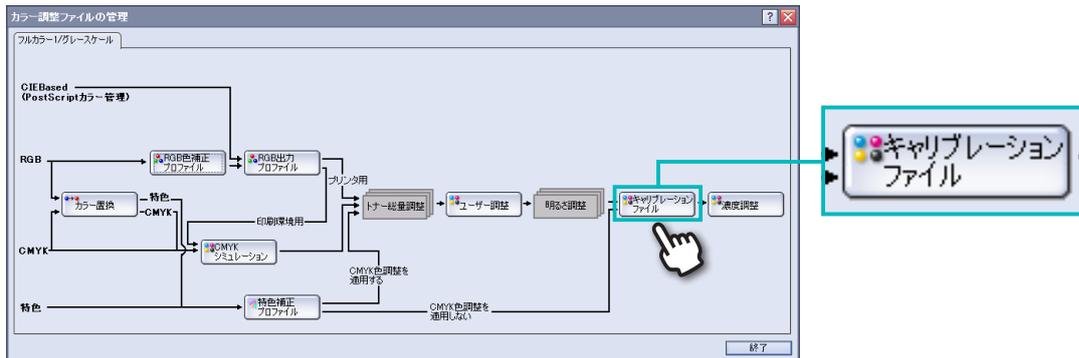
ServerManagerの  [カラー調整ファイルの管理]をクリックします。

[カラー調整ファイルの管理]ダイアログボックスが表示されます。

補足

[カラー]メニューから[カラー調整ファイルの管理]を選択しても、[カラー調整ファイルの管理]ダイアログボックスを表示できます。

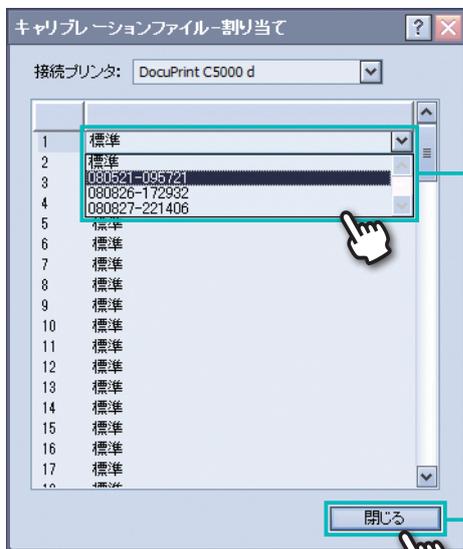
2



[キャリブレーションファイル]をクリックします。

[キャリブレーションファイル-割り当て]ダイアログボックスが表示されます。

3



①割り当てる番号を1~100の中から選択し、プルダウンメニューで割り当てるファイルを選択します。

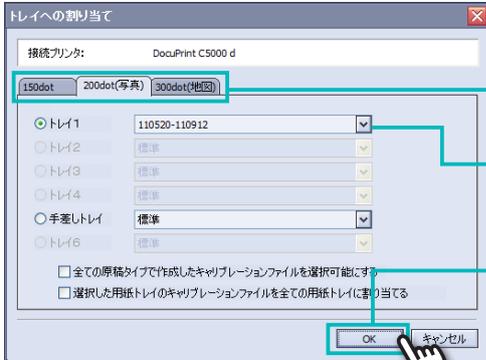
②[閉じる]をクリックします。

ファイルの用紙トレイへの割り当て

1

[キャリブレーショントップメニュー]ダイアログボックスの[割り当て]をクリックします。
[トレイへの割り当て]ダイアログボックスが表示されます。 ← 1 / 1~2

2



①タブをクリックして、割り当てる原稿タイプを選択します。

②プルダウンメニューから割り当てるファイルを選択します。

③[OK]をクリックします。

補足

- ・全ての原稿タイプで作成したキャリブレーションファイルを選択可能にする
チェックマークを付けると、すべての原稿タイプで、すべてのキャリブレーションファイルが割り当て可能になります。チェックマークを外すと、ほかの原稿タイプで作成されたキャリブレーションファイルが割り当てられている用紙トレイには、[標準]が割り当てられます。
- ・[選択した用紙トレイのキャリブレーションファイルを全ての用紙トレイに割り当てる]
チェックマークを付けると、選択している用紙トレイに割り当てられているキャリブレーションファイルがすべての用紙トレイに割り当てられます。

キャリブレーション結果確認用サンプルプリント

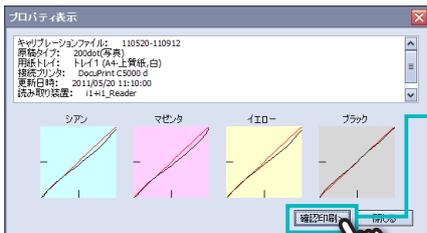
1

確認するキャリブレーションファイルを[キャリブレーショントップメニュー]ダイアログボックスのリストから選択します。 ← 1 / 1~2

2

[キャリブレーショントップメニュー]ダイアログボックスの[プロパティ]をクリックします。
[プロパティ表示]ダイアログボックスが表示されます。 ← 1 / 2

3

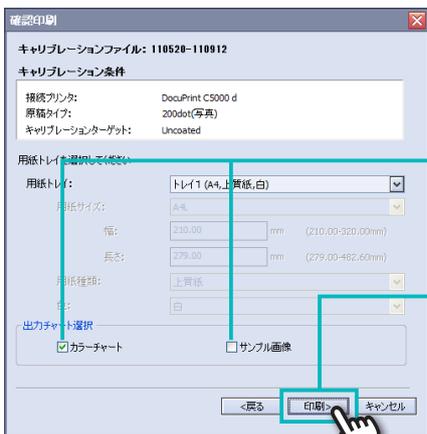


[確認印刷]

[確認印刷]をクリックします。

[確認印刷]ダイアログボックスが表示されます。

4



プリントするチャートを選択します。

[印刷]

[印刷]をクリックします。

キャリブレーション適用前と適用後のサンプルがプリントされます。

5

ターゲットファイルの作成

プリントで使用する用紙専用のキャリブレーションターゲットファイルを作成できます。
作成したターゲットファイルは、キャリブレーションファイルを作成するときに、[キャリブレーションターゲット]で選択できます。

- 1 [キャリブレーショントップメニュー]ダイアログボックスの[ターゲット作成]をクリックします。
[キャリブレーションターゲット新規作成]ダイアログボックスが表示されます。◀..... 1 / 1~2

2

①読み取り装置を選択します。
②原稿タイプと用紙トレイを選択します。
③ターゲット作成用チャートをプリントします。
④[i1_Readerを使って測色する]、または[測色ファイルを使用する]を選択します。..... 3 / 2、2

補足
[i1iO+MeasureTool]を選択したときは、[i1_Readerを使って測色する]を選択することはできません。

- ⑤[測色開始]をクリックします。..... 2 / 4

3

ターゲットファイル名とファイルコメントを入力できます。
[保存]をクリックします。